**令和７年度**

**社会福祉法人会計実務通信講座**

【9月度課題】

固定資産の取得、減価償却、売却、除却の処理

8桁精算表の作成（基礎）

前回までは経常的に発生する資金取引（流動資産、流動負債）を学習しました。

今回は固定資産の取得から所有時の処理（減価償却）、売却（売った）もしくは除却（捨てた）時の処理までを学習します。

前回の範囲で扱った6桁精算表は「期中取引が資金取引のみ」であることを前提としましたが、実際には減価償却のような資金取引以外の取引（その他取引）が発生します。期中取引を「資金増減取引」と「その他取引」とに分けて記入できるよう元帳と精算表（8桁精算表）を工夫することで、期末貸借対照表、事業活動計算書、資金収支計算書を一体的に作成できることをマスターしましょう。

テキスト該当範囲　pp.98－109

解答上の注意

解答用紙の1枚目に学籍番号・氏名、2枚目以降は学籍番号を必ず記載してください。

**問題１**

次の文章の空欄にあてはまる適切な語句を、下に示す語群の中から選んで答えなさい。同じ語句が複数の空欄に入る場合があります。

（１）　基本財産とは（　ア　）において基本財産と定められた固定資産をいう。

（２）　器具及び備品は取得価額が10万円（　イ　）で、耐用年数が1年以上のものに限る。例えば9万円の事務用パソコンを購入したときは（　ウ　）として処理することができる。

（３）　固定資産を取得する際にかかった付随費用は取得価額に（　エ　）。

（４）　固定資産を取得したときは、支払資金が（　オ　）ため資金収支計算書に（　カ　）。また純資産は（　キ　）ため事業活動計算書に（　ク　）。

（５）　減価償却費は事業活動計算書に（　ケ　）が、資金収支計算書に（　コ　）。

超　　　以上　　　　含める　　含めない　　定款　　　経理規程

消耗器具備品費　　　事務消耗品費　　　　　　減少する

増減しない　増加する　　計上される　　計上されない

**問題２**

次の各取引につき仕訳をし、それぞれ計上される収支計算書（フローの計算書）に〇を、計上されない収支計算書（フローの計算書）に×を入れなさい。計上されない場合、必ず×を入れること（空欄は不回答とします）。

なお、勘定科目は次頁の勘定科目一覧より選択して仕訳をすることとし、相手勘定科目が複数のときは、諸口を使わず相手勘定科目毎に仕訳すること。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 取引内容 |
|  | コピー機を6月1日に360,000円で購入した。 |
|  | 電気代20,000円が口座から引き落とされた。 |
|  | 食材12,000円を掛買いした。 |
|  | 利用者のために加湿器50,000円を現金で購入した。 |
|  | 上記①につき、当期分（翌3月31日まで）の減価償却費を計上した（定額法償却率：0.200）。 |
|  | 簿価30,000円の車両を90,000円で売却した。 |
|  | 使用していなかったプロジェクター（簿価20,000円）を廃棄した。 |
|  | 利用者の家族から経常経費に対する寄附金100,000円が振り込まれた。 |
|  | 職員給料500,000円から、源泉所得税30,000円を差し引き、現金で支給した。 |
|  | 上記⑨にて預かった源泉所得税を税務署に納付した。 |

**勘定科目一覧**

貸借対照表勘定科目

（資産の部）

現金預金 事業未収金 未収金 未収補助金 立替金 前払金 短期貸付金 仮払金

土地 建物 構築物 機械及び装置 車輌運搬具 器具及び備品 長期貸付金

（負債の部）

短期運営資金借入金 事業未払金 その他の未払金　預り金 職員預り金

設備資金借入金 長期運営資金借入金

事業活動計算書勘定科目

（収益の部）

介護保険事業収益 経常経費寄附金収益　受取利息配当金収益 固定資産売却益

（費用の部）

役員報酬 職員給料 職員賞与　法定福利費　給食費 水道光熱費 燃料費

消耗器具備品費 保険料 賃借料　車輌費 福利厚生費 旅費交通費 事務消耗品費

修繕費 会議費 業務委託費 減価償却費 支払利息 固定資産売却損・処分損

**問題３**

（１）次の各仕訳から解答用紙の総勘定元帳に転記して、締め切りなさい（転記の際、日付は問題番号①～⑩とする）。また、転記した総勘定元帳をもとに、解答用紙の精算表を作成しなさい。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 仕訳　（単位省略） |
|  | 現金預金　１，０００　／　設備資金借入金　１，０００ |
|  | 車輌運搬具　２，０００　／　現金預金　２，０００ |
|  | 減価償却費　２００　／　車輌運搬具　２００ |
|  | 設備資金借入金　１００　／　現金預金　１００ |
|  | 支払利息　１０　／　現金預金　１０ |
|  | 現金預金　１６０　／　器具及び備品　１６０ |
|  | 固定資産売却損・処分損　８０　／　器具及び備品　８０ |
|  | 現金預金　２００　／　車輌運搬具　２００ |
|  | 現金預金　１４０　／　固定資産売却益　１４０ |

（２）次の例を参考に、上記（１）取引④⑤（セット）、および取引⑧⑨（セット）の取引内容を書きなさい。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 取引内容（例） |
| ① | 施設を建設するために１，０００を借り入れた。 |
| ⑥⑦（セット） | 帳簿価額２４０の備品を１６０で売却した。 |

以上、問題ここまでとなります